

認知症地域支援体制推進 全国合同セミナーのねらいと進め方

認知症とともに希望をもって暮らす
共生社会実現に向けた地域支援体制を築いていくために

認知症介護研究・研修東京センター



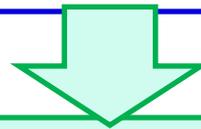


全国、それぞれの地域で、人が暮らし、つながり、固有の文化がある。
認知症とともに生きる：共生社会の実現に向けて、各自治体なりの一步一步を

認知症地域支援体制推進 全国合同セミナーのねらい

全国それぞれの自治体が、地域特性を活かして
共生社会の実現を着実・持続発展的に進めていくために

- ・国の認知症施策の最新情報を知る
- ・他自治体の構想、行政の役割機能、進め方・工夫等の情報を知る
- ・認知症当事者の声を聴く(サプライズトーク)



- ◆方向性・方針・焦点、ポイントの確認
- ◆自治体/地域を振り返り、今後の補強点・改良点を見出す機会に
- ◆日頃の疑問点・課題を解消し、不安・負荷を減らす一助に
- ◆他自治体の関係者をつながるきっかけに

2024年度 全国合同セミナー 今回の位置づけ

2000

2010

2020

今

2030

2040

コロナ
禍

- ・超・超高齢化の進展→
- ・認知症は「ありふれた状態」
- ・一人暮らしの認知症の人の増加

現場・自治体でたくさんの試行錯誤

*事業・関係者の多様化/複雑化

見直し・改良

2019

認知症施策
推進大綱

2024年 1月施行
共生社会の実現を推進する
ための認知症基本法

2024年12月

認知症施策推進本計画

<今回のセミナー>

最新情報・知見

- ⇒方向性と方針、焦点
- 行政機能等の確認
- ・改良点・補強点

*各自治体で

- ・共有・対話
- ・施策、取組に
反映

各自治体ならではの取組を
持続・発展的に

認知症地域支援体制推進 全国合同セミナーの進め方

1月16日 : オンライン/会場参加

- ・認知症施策の最新情報を知る
- ・他の自治体の取組報告をきく
- ・本人の声を聴く: 体験、メッセージ等
- ・質疑応答

★認知症施策の参考情報を得る

- ・方向性、考え方
- ・焦点、進め方、工夫等

★自地域の今後のあり方・補強策等を具体的に考える

1月17日 : 会場参加

グループワークと全体

- ・考え方等の(再)確認
- ・課題の深堀り・整理
- ・課題解消策の討議
- ・情報・工夫等の共有

★より具体的に

★各自治体で

職場内と地域で
多様な人たちと

- * 情報の伝達共有
- * 対話・討議を

方向性・焦点の共有

★今の時期、何に
注力すべきか

★改良・補強策
を具体的に

全国の担当者同士のネットワーキング: セミナー後こそ他地域とつながろう
情報・資料共有、交流・相談、相互応援

* zoom画面下の「Q&A」より、報告者への質問や情報を、どうぞお寄せ下さい。

* セミナーの時間が限られ、回答しきれない場合、

後日、Q&Aをまとめて、当センターのホームページDCネットに掲載いたします。

年度末・来年度以降に向けた大切な時期

めざす姿の実現にむけて施策を着実に進めよう：市区町村・都道府県・国が重層的に

尊厳を保持しつつ希望をもって、自分らしく暮らすことができる（最期まで）



共生社会

一人一人が個性と能力を十分に発揮し相互に尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会

固有の地域特性（風土・文化・社会資源等）を大切に活かしながら
わがまちならではの地域支援体制を、持続発展的にともに築いていく

市

町

村

都

道

府

県

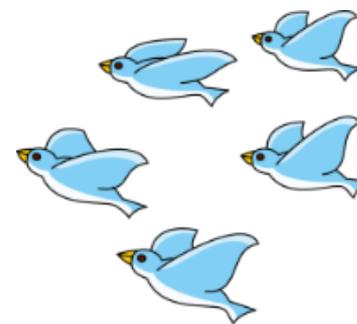
各市町村がその地域特性を活かした施策を展開していけるための推進・後押し
環境整備・バックアップ

国：政府、厚生労働省、関係省庁

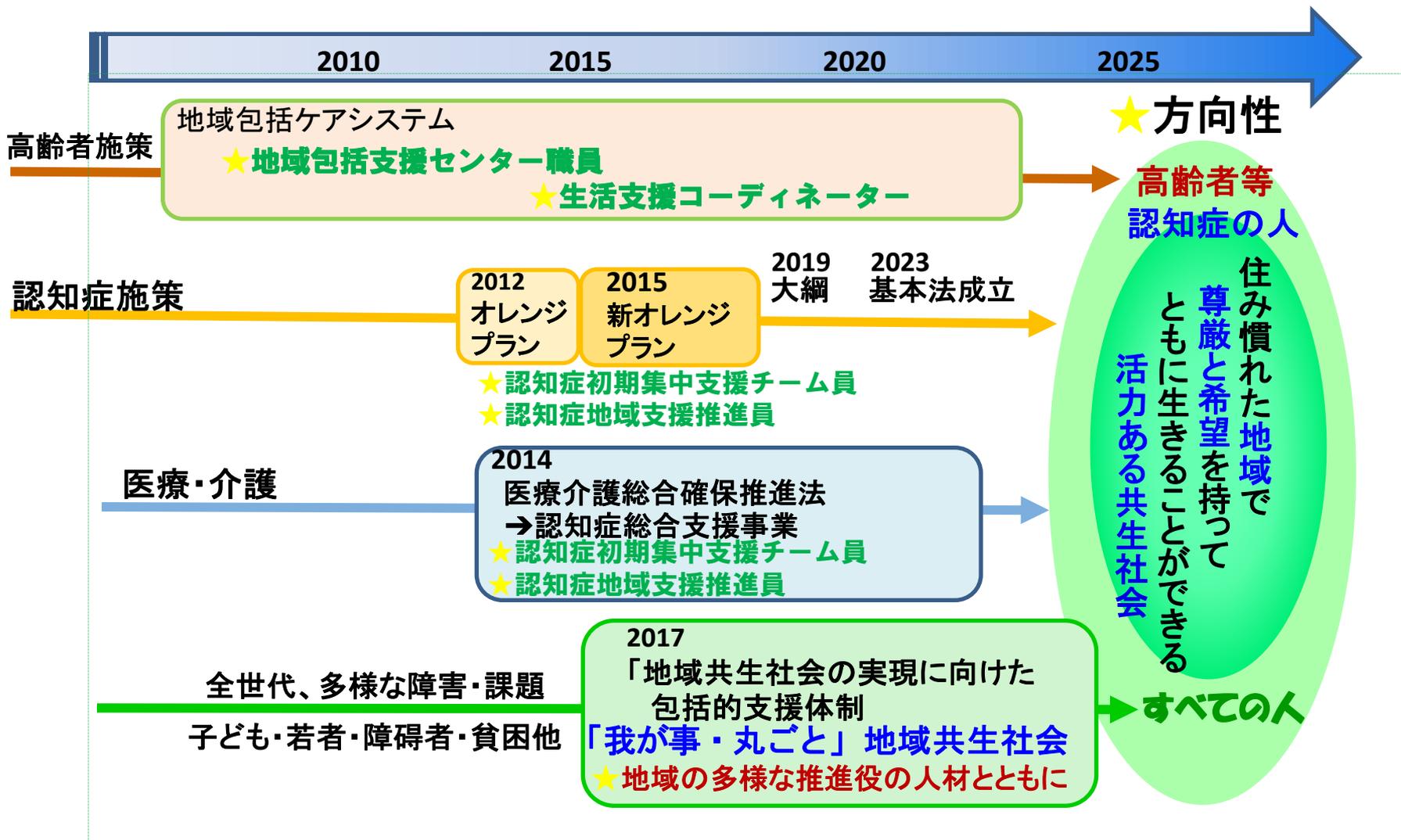
＜共生社会の実現を推進するための認知症基本法・認知症施策推進基本計画＞
都道府県・市町村の施策を総合的・計画的に推進：環境整備・バックアップ

参 考 情 報

* 施策担当者が、方向性・焦点を見定めて、舵取りを



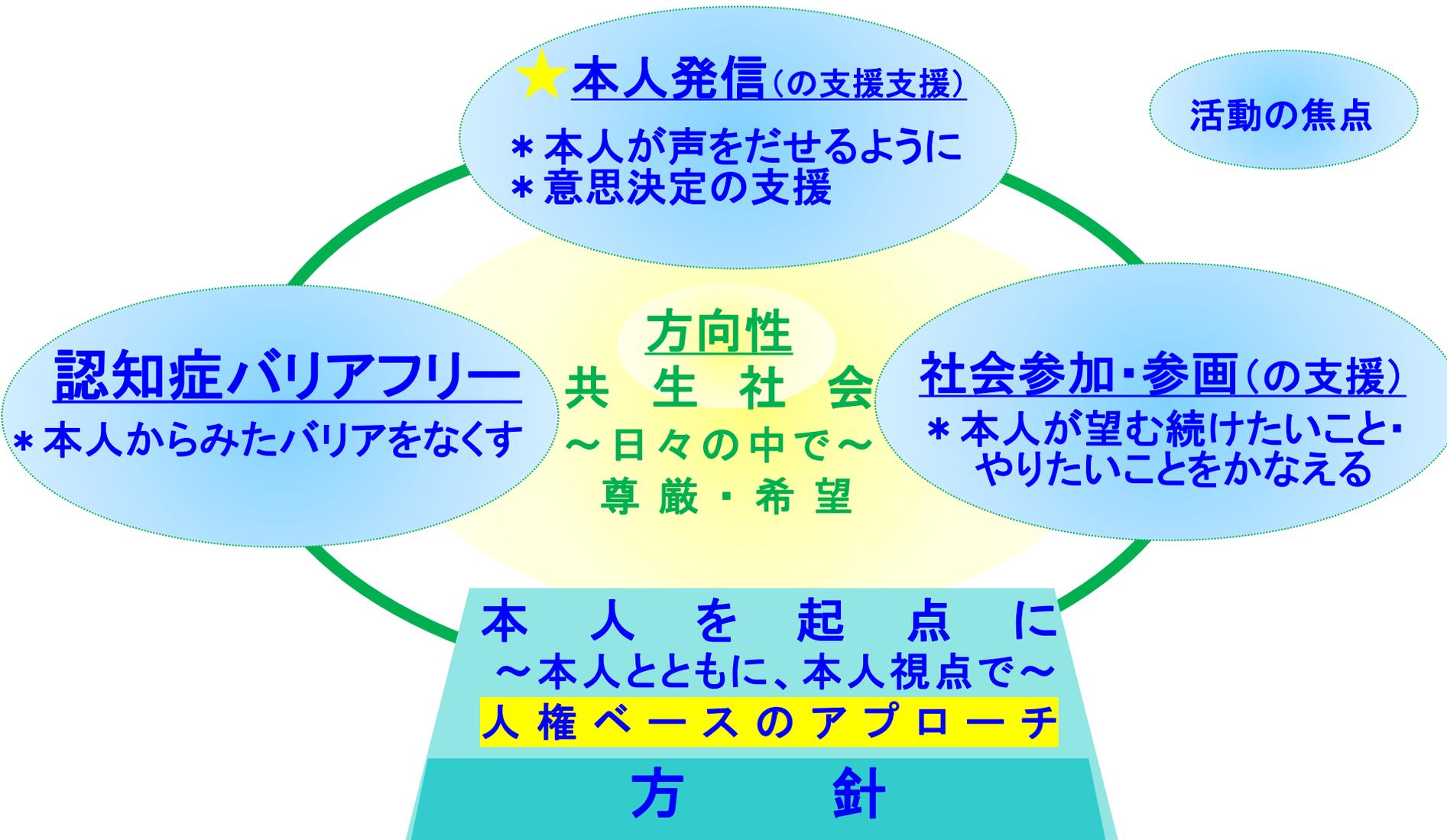
方向性：認知症のみではなく、地域の多様な領域とともに共生社会をめざす



★地域には、共生社会に向けた実働を地道に続けている人たちが様々いる

認知症とともに生きる「共生社会」⇒地域のすべての人がともに生きる基盤・触媒になる

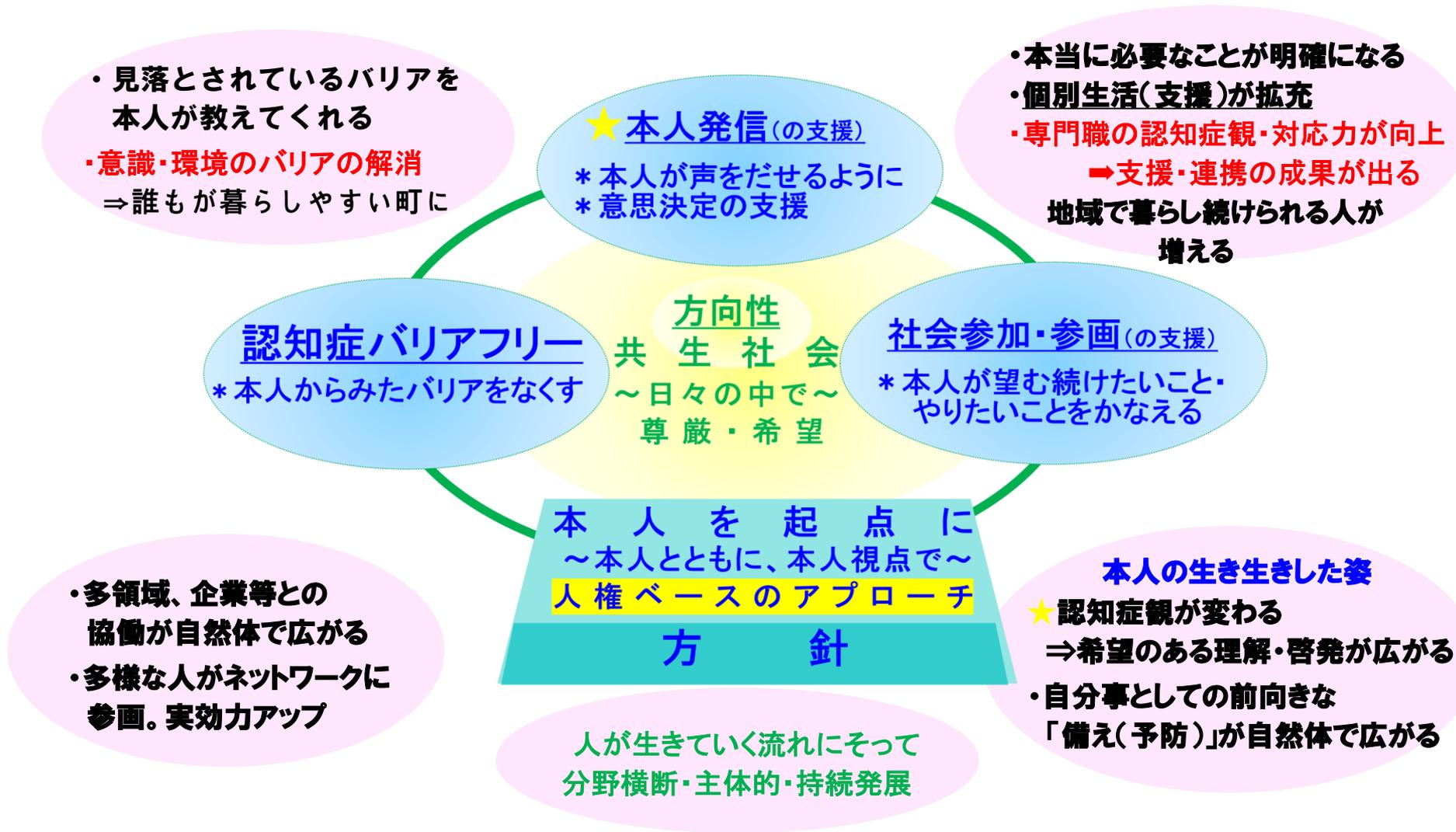
これからの方向性と方針・焦点(注力すべきこと)は・・・



自分だったら・・・そうあってほしい、あたりまえのこと

*** 事業・活動を焦点化すると、付加価値(波及効果)が大**

焦点に注力していくことで、付加価値(波及効果)が大



* 焦点に注力⇒本人の自立、安心・自信(存在不安の解消)・安定⇒進行予防につながる
★本人の変化が見えやすい⇒理解、協働の輪が自然体で広がる
⇒楽しさ・やりがい、共生を実感・共有できる⇒活動が自発的に持続発展していく

人が、自分らしくあたりまえに暮らし続けるために本人発信が不可欠



今日食べたい一品は・・・



好みの髪型・色は・・・



行きたい場所へ・・・



住みたい場は・・・

その他、さまざま・・・

- ★誰だって、「物言えないと、腹ふくるる」。 ➡ 発信できないことが、BPSD（行動心理症状）の深刻な引き金 体調悪化の要因でもある。
- ★自分らしさは、百人百様。本人が発信することは、自分らしさを保つ鍵 ➡ 認知症になってこそ、より重要。
- ★家族や、専門職であっても、本人（自分）の真意はわからない。
- ★本人が自分の人生の主人公。本人発信・自己表現は人としてあたりまえのこと（基本的人権）

誰だってあたりまえのことが、認知症になってからも守られるように

本人発信（支援）：共生社会をみんなで共に築いていくための鍵



1) 人が、自分らしく
あたりまえに
暮らし続けるために

2) 認知機能が低下している人
だからこそ、発信力を保ち・
伸ばすために

本人発信

3) 古い常識を払拭し、
新しい認知症観の普及を着実に
広げ、自分ごととして考え、
前向きに暮らしていく人を
増やすために

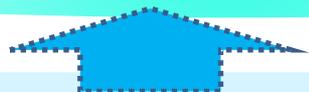
4) 本人の理解を深め、
本人にとって必要なことを知り、
適切な関わり・支援、施策を
効果的に展開していくために

5) 専門職・行政はもとより、
地域の多様な人たちが、
今、ここで、本人が必要なことを知り
ともに暮らしやすいまち（共生社会）
を自然体でスムーズに
築いていくために

すべての事業・取組は、立場や職種を超えて
方向性、方針・焦点を共有しながら

★めざす方向

わがまちならではの共生社会（日々の中で実現を）



★方針:本人を起点に 本人とともに(本人抜きで進めない)

本人視点で 本人の声と力を活かして

*人権を基本に 認知症が軽度～最重度まで、どんな人にも(困難な時こそ)

★焦点:本人発信支援—本人の社会参加支援—認知症バリアフリー

質の向上

質の向上



本人を起点とした人づくり・チームづくり 例:チームオレンジ

まちづくり:地域にあるもの・ことを大切に、本人を起点に連動・統合

地域固有の風土・文化・資源 / 一人一人・つながり等

共生社会は、 いつかそのうち・・・の遠い話しではない

日々の中で小さな共生が生み出され、その積み上げで共生社会が実現！

認知症の本人とともに：共生・共創が、全国各地で広がっている

本人の声、本人発信を大切に、ともに、希望を

地域固有の人・場・こと・事業をつなげながら

本人発信
(支援)



社会参加
参画
(支援)



認知症
バリア
フリー



目指すは、わがまちなりの“共生社会”

全国の実例集



*DCネットで検索を
⇒認知症地域支援推進員
活動情報集
【地域共生編】

地域共生を、具体的・効果的に推進するための具体策として

「希望をかなえるヘルプカード」を、あなたのまちでも

- * 本人が望んでいること(やりたいことや続けたいことなど)を、安心してスムーズにできるために、本人が使うカードです。
- * 周りの人に自分が望むことやちょっとわかってほしいこと、お願いしたいことを書いておき、必要な時にだけ見せて使います。



カード表面、本人が持ちたいものを本人が選んで利用します。地域版のカード作成も。

本人発信-社会参加-認知症バリアフリーを 具体的・一体的に進めていくための有効なツール

使用実例：「希望をかなえるヘルプカード」に書きたい内容は、百人百様

家への帰り道を教えてください
目印は〇〇保育園です
そこまで行けば帰れます

私の代わりに連絡をお願いします
090-1234-5678
(東京花子・地域包括センター)
私は杉並太郎
杉並区〇〇-△△△

ノートに書いて教えてください
あなたのお話を
覚えておきたいです

この操作を教えてください
セルフレジで
支払いたいです

★ 認知症地域支援推進員等が、このカードの実践的な普及を始めています。

希望をかなえるヘルプカード

検索



希望をかなえるヘルプカード
スタートガイド2021

※A4版、
※8つのチャレンジレポート付き



希望をかなえるヘルプカード
持って安心！ 使って便利！

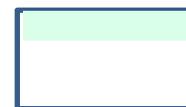
※本人等への周知・導入用の
リーフレット
※A4版(裏表) 三つ折り

カードのサンプル(ひな型)

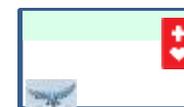
三つ折	三つ折	三つ折	三つ折(縦向き)
セルフ 支払	セルフ 支払	セルフ 支払	セルフレジデ 支払いたいです

よく使われる内容をもとにした記入例

記入用カード



白紙(マーク無し)



白紙(マーク入り)

広報用のちらし (A4版)



広報用の動画 (5分)



★あくまで道具：本人が自分の望む暮らしを続けていくことがねらい。
使いながら、小さな望みを大切にしよう仲間、理解者が
まちの中で一人、また一人と広がっていきます。

東京センターのホームページ [Dcnetの推進員ページ](#)をご活用ください。

*** 研修情報、* 報告会等のお知らせ、当日資料、Q&Aの集約など**

<https://www.dcnet.gr.jp/suishinin/>

認知症介護指導者 /実践者等養成	各種研修事業	研究情報	研究成果物 学習支援情報	研究報告書検索 地域実践事例検索	行政情報	
---------------------	--------	------	-----------------	---------------------	------	--

認知症地域支援推進員

認知症地域支援推進員(推進員)の育成やネットワーキング、活動の支援を行っています。



認知症地域支援 推進員とは	認知症地域支援 推進員研修	研修資料	参考資料 動画資料
すいしんいん セッション オンラインセミナー	推進員通信	すいしんいん ネット	イベント等 のお知らせ

全国認知症地域支援推進員連絡会 ～ すいしんいんネット ～

「推進員になったけど、これからどうすればいいの？」

「先進的な取り組みをいっぱい知りたいな～」

「地元だけじゃなく、全国の仲間とつながりたい！」

このような希望を叶えるため、

「**全国認知症地域支援推進連絡会 ～すいしんいんネット～**」を
立ち上げました！！

facebook のアカウントをお持ちの方、

全国の推進員とこの機会に交流しませんか！

又、Facebookをされていない方もこの機会に始めてみませんか？

「すいしんいんネット」と検索いただくか、QRコードを
読み取り、申請後、承認されれば仲間入りです！！



「**認知症地域支援推進員に限定していますが、
後方支援する自治体等の方もご参加ください。**」

すいしんいんネットに関するお問い合わせは

[suishinin.net@gmail.com] まで。

■ **全国認知症地域支援推進員連絡会 事務局** ■

<参考情報>

「新しい認知症観」の普及を：住民・専門職・行政職が発想を変える！
インパクトのある既存資材を地域でフルに活かそう



認知症とともに生きる希望宣言
リーフレット



本人にとっての
よりよい暮らし
ガイド
(小冊子)

* 入手は、日本認知症本人ワーキンググループ
office@jdwg.org

厚労省

認知症本人大使
「希望大使」

本人からの
メッセージ
(短い動画)

* 厚労省 ホームページ

<参考情報>

NHK Eテレ「ハートネットTV 認知症バリアフリーのまち大集合2025」

放送日: **2025年1月21日(火)** 20時00分～20時29分

※再放送 1/28(火)5時55分～ 1/29(水)0時30分～

2024年度の「認知症とともに生きるまち大賞」の受賞地域の最新状況を一挙放映

「認知症とともに生きるまち大賞」 (NHK厚生文化事業団)

*** 本人参画でのまちづくり進めている地域の具体的な実例を、短いリアルな映像で紹介**

検索 ⇒ 認知症とともに生きるまち大賞

国内外の認知症の当事者がバトンをつなぐ

希望のリレー 国際フォーラム 2025

～認知症当事者の声とチカラ、つながりを活かして、共生社会の推進を～



ケイト・スワファー

● 2025年02月14日(金)
13:00～16:00

● 有楽町朝日ホール
千代田区有楽町2-5-1
有楽町マリオン11F

<https://www.asahi-hall.jp/yurakucho/access/>



● 定員 600名(無料)
※ 事前の申込みが必要です。

<認知症になってからも尊厳を保ち、希望をもって共に生きる>

- ◆ 日本国内では、それがもはや理想ではなく、どこで暮らしていてもその実現が図られるように、2024年1月「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、基本的人権遵守を根幹に据えた認知症施策の推進が本格的に進み始めています。基本的人権遵守の認知症施策のために不可欠なのが認知症当事者の参画です。
- ◆ 今回のフォーラムでは、共生社会創りを当事者参画で着実に進めていくために、認知症の当事者発信・当事者活動の世界的な牽引役であるケイト・スワファー(オーストラリア在住、国際認知症同盟DAI共同設立者)と国内の当事者が、自らのチャレンジと今後のあり方、社会への期待について語りあいます。
- ◆ 共生社会を当事者参画でともに創り育てていくために、多くの方のご参加をお待ちしております。

ケイトとともに、当日、語りあう国内の当事者のみなさん(敬称略) ※予定



丹野智文



藤田和子



山中しのぶ



戸上 守



春原治子

その他
国内の当事者

声をかけあって、どうぞご参加下さい。

- 認知症本人、本人の活動支援者、家族
- 行政関係者、地域包括支援センター職員
- 認知症地域支援推進員、生活支援コーディネーター、若年性認知症支援コーディネーター
- 医療・介護・福祉・法律関係者
- 地域づくり関係者 ○ 一般の方々
- 研究・教育関係者・学生
- メディアの方々

申込み方法

★下記のホームページよりお申込み下さい。

検索 DCネット 希望フォーラム

- * 申込み締切: 02月10日(月)
- * 定員に達し次第、締切前でも申込みを終了させていただきます。
- * フォーラム当日の収録動画を後日DCネットで配信する予定です。



https://suishinin.jp/suishinin/suishinin_event/event_No6-2.php

主催: 社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター 問い合わせ: kibou@dcnet.gr.jp
共催: 一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ 03-3334-1150